

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援工房 下山門教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育に特化したSSTを用いて生徒にアプローチをしている。	生徒ごとに、どの部分に苦手意識を持っているのかをミーティングで挙げ苦手克服・課題解決をするためにSSTを用いているところ。 その後、実践に繋げられる場面があった際は、取り組んだ内容を振り返りながら支援を図っている。	併用で利用している他教室から情報収集を行いよりよい支援を検討している。 また、都度、保護者様に共有していく。
2	虐待を防止するために、職員の研修機会を設けている。	決められた月に、研修動画を見て、レポートを提出してもらっているところ。	外部で研修があれば、参加を検討していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	どのように周知するのか。 開催する場所の確保。 いつするのか？	時間と場所の確保。どのような内容で交流をするかを検討する必要がある。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	どのように周知するのか。 開催する場所の確保。 いつするのか？ 誰が地域活動の情報収集をするのか。	時間と場所の確保。どのような内容で交流をするかを検討する必要がある。
3			